

平成27年第1回定例市議会報告

1 日程 【表紙】

2月16日(月)開会

18日(水)一般質問 坂田 議員(自民) 田中誠 議員(未来)
 19日(木)一般質問 田尻将 議員(連合) 園川 議員(公明)
 20日(金)一般質問 益田 議員(共産) 北口 議員(自由ケ)

24日(火)予算決算委員会(総括質疑)

25日(水)予算決算委員会(総括質疑)

26日(木)予算決算委員会分科会、部門別常任委員会

3月3日(火)予算決算委員会(締めくくり総括質疑、表決)

5日(木)委員長報告 質疑、討論、表決、閉会

2 本会議質疑応答要旨：一般質問 9件 【P1～P3】

- | | | |
|---|------------------------------|-------------|
| 1 | 教育委員会制度について【市長答弁】 | (教育政策課) |
| 2 | 少人数学級の効果について【委員長答弁】 | (教育政策課) |
| 3 | 全学級への少人数学級の導入について | (教育政策課) |
| 4 | 学校施設改修の増額について | (施設課・学務課) |
| 5 | 小中学校へのエアコン設置について | (施設課) |
| 6 | 英語教育の拡充について | (指導課) |
| 7 | 原爆慰霊式典への児童・生徒代表の参加について【市長答弁】 | (指導課) |
| 8 | 環境教育の推進について | (指導課) |
| 9 | 通学路の安全確保について | (健康教育課) |

3 予算決算委員会質疑：総括質疑 2件 【P4～P5】

- | | | |
|---|-------------------------|-------------------------|
| 1 | 小中学校へのエアコン設置について | (施設課) |
| 2 | ネットトラブル対策、情報モラル教育経費について | (総合支援課・指導課
教育センター) |

4 予算決算委員会分科会質疑応答要旨 【P6～P9】

5 企画教育市民委員会質疑応答要旨

教育委員会該当なし

6 予算決算委員会質疑：締めくくり総括質疑

教育委員会該当なし

7 閉会日質疑

教育委員会該当なし

2. 本会議 質疑応答要旨

質疑要旨	応答要旨
<p>教育政策課</p> <p>教育委員会制度について 【市長答弁】</p> <p>「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が、平成27年4月1日から施行される。</p> <p>市長が総合教育会議の場で、教育施策について議論し、教育の目標や施策の根本的な方針に関わっていくことが重要であるが、市長が主宰する「総合教育会議」の設置について、どのように教育委員会と連携していくのか。また、教育に関する大綱の策定について、どのように考えているか。</p>	<p>本市においても、法の趣旨を踏まえ、できるだけ早い時期に総合教育会議を設置し、その中で、教育委員会と十分な意思疎通を図り、本市教育の課題や目指す姿等を共有して、より一層地域住民の意見を反映した教育行政の推進を図ってまいりたいと考えている。</p> <p>また、教育に関する大綱については、法の中で、その地域の実情に応じ、地域における教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることが位置づけされている。私が公約を作成するにあたり実施した政策立案会議においても、市民の皆様から教育に関するご意見をたくさんお聞きした。これらのご意見も踏まえながら、総合教育会議において、教育委員会と十分に議論を交わし、本市の教育にふさわしい大綱を策定してまいりたいと考えている。</p>
<p>少人数学級の効果について 【委員長答弁】</p> <p>熊本市では、国に先駆けて少人数学級がスタートし、現在小学校4年生までと中学1年生までに拡充してきたが、その教育的な効果についてお尋ねする。</p>	<p>少人数学級の導入により、学習に対する意欲の高まりや豊かな人間関係づくりができており、また教師については、子どもに向き合う時間が増え、授業中に子ども一人ひとりの学習の理解度を把握し、それに合わせた指導ができています。</p> <p>例えば、平成22年度にまとめた35人学級に関するアンケート調査結果において、小学校4年生への35人学級導入前と導入後と比較すると、「授業中発表することが多い」と答えた児童の割合や「授業中、友達に教えたり、教えてもらったりすることが多い」と答えた割合が増加している。</p> <p>このように、子どもたちが楽しく生き生きと学べ、個に応じたきめ細かな指導ができることが、少人数学級の導入による教育的な効果であると考えている。</p>
<p>全学級への少人数学級の導入について</p> <p>全学級での少人数学級の実現に向けた取組について、必要な財源も含めてお尋ねする。</p>	<p>これまで、少人数学級・少人数指導について検討委員会を設置し、効果等の検討を行った上で35人学級を導入してきた。導入していない学年については、ティームティーチングや少人数指導を取り入れており、教師が子ども一人ひとりと関わり、個に応じたきめ細かな指導を行っている。</p> <p>全学年に少人数学級を導入する場合の経費については、教師の人的費と教室不足によるプレハブ経費で、およそ14億円が必要であると試算している。</p> <p>今後とも、少人数学級に関する国の動きを注視するとともに、現在の少人数学級や少人数指導の内容充実を図り、子ども一人ひとりを大切に教育を推進していく。</p>

質疑要旨	応答要旨
<p>施設課・学務課</p> <p>学校施設改修の増額について 改修要望に速やかに対応し、需用費や学校配当予算の増額を行うべきではないか。</p>	<p>学校施設の改修については、これまでも計画的に対応してきたところであるが、今後も学校施設の要望に対しては、現場の確認を行い学校と協議しながら、子どもたちの安全性確保を第一に考え、優先順位を付けて対応してまいりたい。 また、学校配当予算についても、学校現場の要望にできるだけ応えるとともに、今後とも限られた財源を有効に活用できるよう、学校へ配当していきたいと考えている。</p>
<p>施設課</p> <p>小中学校へのエアコン設置について 小中学校へのエアコン設置の今後のスケジュールはどのようになっているのか。</p>	<p>小中学校へのエアコン設置については、教育環境の整備を進めていく上で、優先度の高い課題として今後取り組むこととし、平成27年度当初予算において、全中学校の普通教室への設置に向けた設計経費を計上している。 今後のスケジュールについては、平成28年度中に全中学校普通教室へエアコンを設置し、その後、順次、全小学校普通教室への設置を進めていきたいと考えている。</p>
<p>指導課</p> <p>英語教育の拡充について 小学校における英語の教科化への対応を含め、本市の英語教育の充実に向けて、現在どのような取り組みを進めているのか、また今後どのように取り組んでいくのか。</p> <p>原爆慰霊式典への児童・生徒代表の参加について 【市長答弁】 8月6日、9日の原爆慰霊式典へ、児童・生徒代表を参加させることについての市長の考えを聞きたい。</p> <p>環境教育の推進について 江津湖の環境保全に向けて、環境教育にどのように取り組んでいくのか。</p>	<p>本年度から、国の「英語教育強化地域拠点事業」の指定を受け、モデル校において、小学校3年生からの外国語活動の授業に取り組むとともに、小中高連携による指導体制の整備や授業の在り方について研究を進めている。また、現在、英語教育推進リーダーの育成を図っているところであり、今後は、この推進リーダーを活用し、小中学校の教員を対象とした授業力向上の研修を計画的・系統的に実施していく。</p> <p>本市の児童・生徒代表が式典に参加することも意味あることであるが、式典が目指す理念を、子どもたち一人ひとりが学び取ることこそがより大切である。今後とも、平和の尊さを子どもたちに伝えられるよう、教育委員会と連携しながら取り組んでいく。</p> <p>各学校で、江津湖の生物や水質等に関する調査を行ったり、環境保全活動の講話を聞いたりするなどの活動を行っている。 今後とも、関係各課・諸機関などと連携しながら、体験活動を通して、自ら江津湖の環境を守るといった高い環境保全意識を持った子どもたちを育てていく。</p>

質疑要旨	応答要旨
<p>健康教育課</p> <p>通学路の安全確保について</p> <p>現在、交通安全の視点を中心に実施されている「通学路合同安全点検」に、今後、防犯の視点からも危険箇所の情報共有や安全対策を検討されてはどうか。</p>	<p>児童生徒の命を守るという点では、防犯の観点も重要であることから、今後、防犯の視点も留意するという認識を「通学路合同安全点検」の中で共有し、児童生徒の安全確保に努めてまいりたい。</p>

3. 予算決算委員会 質疑応答要旨

【総括質疑】

質疑要旨	応答要旨
<p>施設課</p> <p>小中学校へのエアコン設置について</p> <p>総設置台数と総事業費、使用頻度はどのように考えているのか。</p> <p>コスト面を考えた場合、製品と工事の分離発注を行ってはどうか。</p> <p>エアコン設置後の運用規定を作る考えはあるのか。</p>	<p>エアコンを導入する教室数は、普通教室で中学校約650教室、小学校約1,500教室、合わせて約2,150教室を想定している。</p> <p>導入にかかる経費は、約56億円を見込んでいる。</p> <p>また、稼働日数は現時点では、夏は7月から9月の夏休み及び休日を除く35日、冬は12月から3月までの冬休み及び休日を除く50日、合計85日程度を想定している。</p> <p>今回のエアコン導入については、他都市の導入状況や設置方法などを踏まえ検討を進めてきたものである。その検討の際には、費用対効果や維持管理を検証し、ランニングコストが安価なガス方式、またメンテナンス性に優れた天井吊型を採用する方向で、現在、準備を進めているところである。</p> <p>製品と工事の分離発注方式については、国の補助金との関係、また別途設備工事が必要となることから、費用対効果がどれくらいあるのかなどの課題を検証していきたい。</p> <p>いずれにしても、相当額の経費を要する事業であることから、事業の効率性を高めることは重要なことと考えており、今後も、設計等の準備を行う中で、更に工夫する余地がないか検討していきたい。</p> <p>エアコンの設置にあたっては、教育委員会としての基準を設けることが必要と考えており、今後、先行している他都市の規定等を調査し、使用を認める室温や設定温度等の基準を検討していきたい。</p>
<p>総合支援課・指導課・教育センター</p> <p>ネットトラブル対策、情報モラル教育経費について</p> <p>既存事業、新たな手引書による授業での教育、情報モラル教育経費について、それぞれの狙い、特徴は何か。</p>	<p>既存事業では、ネットいじめや個人情報の流布等の早期発見・早期対応のため、専門業者によるサイトの検索・調査・削除等を行っている。</p> <p>新たな手引書は、学校全体で指導方法等を共有し、具体的に指導に役立てることをねらいに作成したもので、トラブルを未然に防ぐため、本市の事例を紹介しモデル指導案やワークシート例を具体的に示し、子どもたちにトラブルの回避法等を考えさせる授業づくりに活用するものである。</p> <p>情報モラル教育経費は、効果的な啓発には家庭の協力が不可欠なことから、家庭と連携して進めることを狙いとしている。2年間で全校に専門家を派遣し、保護者と子どもがスマートフォンを操作するなど体験型研修や、情報モラルの必要性を広く市民に知らせるため、ホール等の会場で、小中学生の取組発表や保護者・専門家とのパネルディスカッションを行う。</p>

質疑要旨	応答要旨
<p>情報モラル教育経費は、経費もあまりかからないので、1年間で行うなどスピーディに対応できないか。</p> <p>また、事業効果も高いと思うので、一過性に終わらせず継続的に実施できないか。</p>	<p>子どもと保護者が学校に集まる機会は、学級懇談会やPTA総会など、学期始めや終わりに集中するため、保護者と連携した研修の機会が限られること、また、派遣する専門家の人数が限られることから、計画的に2年間で実施することを考えている。</p> <p>情報モラルの重要性は十分認識している。今後も継続的に意識を高める取組に努めなければならないが、具体的には新たな課題も想定されることから、本事業の検証を行いその時に合った効果的な手法を検討していく必要があると考えている。</p>

4 . 予算決算委員会 企画教育市民分科会 質疑応答要旨

質疑要旨	応答要旨
<p>【当初予算関連】 施設課 (1)エアコン設置について</p> <p>なぜ、中学校から設置を行うのか。</p> <p>相当額の予算が必要になることから、いつまでに全部やるとはなかなか言えないと思うが、着手した以上は、できるだけ早く完了していただきたい。当然財政的な問題があるが、教育委員会の思いとして、どれくらいのスケジュールで対応したいと考えているのか。</p> <p>予算面についての課題はあるが、5年以内の完了を目指していただきたい。もっと早くとの期待はあるが、ぜひ早期の事業完了を目指していただきたい。 <要望></p> <p>教室にいても熱中症になるくらい暑い。中学校からというのは理解するが、小学校もできるだけ早く設置してもらいたいとの要望がある。</p> <p>中学校に設置が始まったときに小学校の設計を行うことはできるのか。</p>	<p>小学校から先に入れると、現在の中学生はエアコンを利用できないまま卒業することになる。</p> <p>一方、中学校から先に入れると、現在の小学生が中学校に進学する際には、既にエアコンが設置されていることになり、より多くの児童生徒がエアコンのある環境で過ごすことができる。</p> <p>また高校受験を控える中学生の学習効果の高まりが期待できることなどを考慮したもの。</p> <p>今回まず中学校に導入し、その後順次小学校へ入れていきたいと考えている。このことについては、全体の投資状況を踏まえ考えていく必要があることから、現時点で具体的に申し上げることはできない状況である。教育委員会の思いとしては、中学校へ導入した後、間を置かず小学校にも設置したいという思いはある。</p> <p>ただ、小学校は数が多いことから、できれば2年間に分けてできないかという思いはあるが、いずれにしても全体予算の中で考えていくことであり、現段階では明確には申し上げられない。</p> <p>空調については子どもたちの学習環境また健康面などの観点から、重要な施策と捉えている。</p> <p>そのような中で、今後中学校の設置を進めていくが、小学校についても中学校に引き続き、できるだけ早く設置できるよう教育委員会としても努めていきたい。</p> <p>小学校への導入について、どのように進めていくのか、といったことについては、今後検討していく。</p>

質疑要旨	応答要旨
<p>施設課・総合支援課 (2)特別支援学級のエアコンについて</p> <p>小中学校の特別支援学級について、昨年、1教室は設置するといった取組が進められているが、複数教室のある学校を含め、現在の設置状況はどうなっているのか。</p> <p>体力面で配慮が必要な児童生徒がいる特別支援学級については、全ての教室へエアコンを設置するようお願いしたいが、いかがか。</p> <p>その場合、中学校では全ての特別支援学級にエアコンが設置される一方で、小学校では待つことになるのか。特別支援学級については、早期設置の検討をしていただきたい。</p>	<p>特別支援学級のエアコン設置については、今年度国の臨時交付金を活用して対応をしたところであり、少なくとも1校に1教室のエアコンを整備した。加えて、複数の特別支援学級がある学校については、学級の数によって検討を行い、追加して設置したところもある。</p> <p>今年度、一部ではあるが特別支援学級にエアコンを追加設置した。 今後について、積算で見込んだ普通教室数には特別支援学級を含めて考えているため、全体の整備の中で、当然ながら特別支援学級についてもエアコンを設置していきたいと考えている。</p> <p>特別支援学級の中で、体温調節ができないなど特別の事情がある場合は、これまでもエアコンを設置してきた。 今後は普通教室へのエアコン整備を行う中で、具体的に整備を考えさせていただきたい。</p>
<p>施設課・教育政策課 (3)必由館グラウンド整備について</p> <p>暗渠配管、また運動に適した地質の砂等を使用することが望ましいかと思うが、整備計画に盛り込まれているのか。</p> <p>地域での利用に対応できるような施設であってほしいが、管理運営指針はどのようにするのか。</p>	<p>既に周りに側溝を配してあること、また山砂を使ってあることから、雨水は十分浸透すると考えている。また、表層部分を地盤改良し、グラウンド改修を行うこととしている。 現在のところ、グラウンドの周囲に勾配をつける排水を考えており、暗渠の予定はないが、地盤を調査し、今後の設計の中で検討していきたい。</p> <p>小中学校と同等に、学校教育活動等に支障がない範囲で施設開放できるよう検討したいと考えている。</p>

質疑要旨	応答要旨
<p>総合支援課 (4)修学旅行特別支援経費について</p> <p>事業の内容はどのようなものか。</p> <p>トイレや風呂の介助は同性がのぞましい。高学年の特別支援学級には介助を必要とする児童生徒と同性の担任を配置すべき。</p>	<p>修学旅行に際し、生命の安全確保のため引率の教職員だけでは対応が難しい児童生徒について、保護者の付き添いに係る経費を補助するもの。</p> <p>学校の実情に合わせて、校内体制の中で適切に支援を行っていききたい。</p>
<p>健康教育課 (6)給食物資の共同購入について</p> <p>現在、地域の実情に応じた都市のあり方を考えていかなければならない時期にあり、近隣市町村との連携を更に強化し、その発展を見込んでいかなければならないと思う。このような中、市全体の契約等に係る課題であると思うが、学校給食物資の購入一元化の仕組みは、そのあり方について、見直しを検討すべきではないか。</p>	<p>現在の仕組みは、毎日約6万食の標準献立を実施するために、同一品質同一価格の物資の安定供給のために構築されたものである。また、地産地消、安全安心の観点から、できるだけ市産農産物を使用することとしており、それが困難な場合は、都市圏を含む近隣市町村で生産されたもの、県内のもの、九州内、国内のものといった形で購入している。</p> <p>食材購入の全体的なあり方を検討していく必要があるという認識は（公財）熊本市学校給食会と共有しているところであり、今後時間をかけて検討していきたい。</p>